



[本校] 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1
tel. 025-239-3111 fax. 025-239-3690
[新潟中央キャンパス] 〒951-8068 新潟市中央区上大川前通7-1169
tel. 025-227-7111 fax. 025-227-7117
🌐 <https://www.nuis.ac.jp> ✉ somu@nuis.ac.jp

学報

令和2年5月20日 発行

新型コロナウイルス感染拡大防止により、卒業式、入学式は中止しました。

令和2年度

入学特集

2~5面

令和元年度

卒業特集

12~16面

派遣留学・海外夏期セミナー帰国報告

8・9面

編集部では表紙を飾る写真を募集しています! 投稿方法は nuischannel@nuis.ac.jp までお問い合わせください。

CONTENTS

2~5面

令和2年度入学特集

学長のメッセージ

新入生代表 私の抱負

在学生代表 歓迎の言葉

両学部長のメッセージ

新任教員紹介

オープンキャンパス案内

6・7面

ズームアップ研究室

6大学間合同ゼミ発表会

韓国朝鮮文化論 卒業生が特別講演

学生プレゼンテーション大会

湧源

8・9面

派遣留学・海外夏期セミナー帰国報告

10・11面

キャンパス・ライフ研修会

青少年のための科学の祭典出展

就活セミナー

令和元年度就職先一覧

教員の活動

12~16面

令和元年度卒業特集

学長・理事長 卒業生に贈る言葉

卒業生 誓いの言葉

退職教員あいさつ

卒業にあたって

JABEE認定22人に修了証書授与

特別表彰・学位記授与スナップ



NUISホームページ
<https://www.nuis.ac.jp>
(スマートフォン対応)



Facebookページ
<https://www.facebook.com/nuis.face>



Instagram



Twitter
[@nuis_nabbit](https://twitter.com/nuis_nabbit)



YouTube
公式
チャンネル

式辞に代えて

新潟国際情報大学
学長 野崎 茂

りますが、現下の非常事態に鑑みご理解いただきたいと思っています。

平成6年（1994年）創立の本学は昨年25周年を迎え、本年は新たな四半世紀に向けて第一歩を踏み出し始めます。この機に合わせ「新潟国際情報大

学（NUISS）中期計画Ⅱ（2020（2024年）」を策定致しました。キャッチフレーズは「未来を創る大学―若者と新潟に未来を！―」です。その年に国際学部国際文化学科に126名、経営情報学部経営学科に108名、同情報システム学科に82名、合計316名の新入生の皆さんを迎え入れることとなりました。

今更繰り返すまでもありませんが、今回の新型コロナウイルス感染症の拡大は留まることを知らず現在も事態は目まぐるしく変わっております。入学が決ま

ってから本日までじつと待機を強いられてきた皆さんにはこれまでよく我慢をしていただきました。とは言え大学での学びを待ち切れないという皆さんの思いに私たちも何とか応える必要があります。お待たせをしましたがいよいよ4月27日から大学の授業の開講です。

今年度の開講に当たってはこれまでと少し変わった授業形態、遠隔授業を中心とした授業とな

りますが、現下の非常事態に鑑みご理解いただきたいと思っています。

平成6年（1994年）創立の本学は昨年25周年を迎え、本年は新たな四半世紀に向けて第一歩を踏み出し始めます。この機に合わせ「新潟国際情報大

学（NUISS）中期計画Ⅱ（2020（2024年）」を策定致しました。キャッチフレーズは「未来を創る大学―若者と新潟に未来を！―」です。その年に国際学部国際文化学科に126名、経営情報学部経営学科に108名、同情報システム学科に82名、合計316名の新入生の皆さんを迎え入れることとなりました。

解と英、露、中、韓を中心とした外国語の習得を通じ、地域ならびに国際社会の平和や真の発展のために貢献できる人材の育成を目指します。

経営情報学部経営学科では情報システムを使いながら、より効率的で効果的な経済活動や企業経営を実現するための知識を学んで行きます。同情報システム学科では情報システムの機能と仕組みを修得し、これを使いこなす知識と技術を身に付けて情報社会の発展に貢献できる人材を育成します。

私たち教職員は皆さん方がそれぞれの志を全うできるよう、そして「国際化、情報化の社会の中で高い専門性を身につけ、豊かな人間性を兼ね備え社会に貢献できる人材」に育って行くよう全力を尽くします。

皆さんはこの大学への入学を選択してくださいました。大学で学ぶということ

世の中にファストフードというジャンルの食べ物があります。短時間で調理が可能であり、あるいは注文してから直ぐに食べることでできる手軽な食品や食事ですね。ゆっくり調理する時間がない時

や少し小腹が空いた時によくお世話になる食べ物です。ハンバーガー、ピザ、フライドチキン、和食で言えば立ち食いそばやうどん、そうそう寿司も元々はこの

範疇の食べ物とか。本来に便利な世の中になりました。このように便利で手軽なファストフードに対してスローフードと呼ばれる食べ物があります。地元の食材を使いゆっくりと手を掛けて調理をする食べ物。滋味溢れる食べ物であり、よく「おふくろの味」とか「マンマの味」と称されもします。新潟はこうしたスローフードを調理するための食材の宝庫。そして新潟における代表的なスローフードという差し詰め正月に食べる「のつぺ」あたりが挙げられるかも知れません。「滋味」、「滋養」という言葉が示すように噛み締めれば噛み締めるほど味わいが出て来る、体のためにもいい、そんな食べ物「スローフード」です。

思うに、大学での教育はこのスローフードを作ることに相当するのではないのでしょうか。もちろん世の中に出てすぐ役に立つ実践的な知識や技術を学ぶことは重要です。それらを中心にして専門的に学ぶことのできる機関や学校も世の中には多数あります。しかしながら、ゆっくりと、場合によっては回り道をしながら、学ぶことの意義を問い直しながら学問に打ち込んで行くことも意味あることなのではないでしょうか。皆さんはそんな「スローフード」を味わうことができる本学の学びを選択してくださいました。

中国古代の思想家老子が述べるたとえ話にこんなものがあります。

粘土をこねて茶碗を作ったり土瓶を作ったりする訳であるが、その茶碗や土瓶の必要なところはどの部分かと言え

大学教育は人格陶冶にあり

手を携えて難局乗り切ろう

中の空虚な何もない無のところだ。その空間があればこそ茶も入り、水も入り、茶碗の用をなす。あるいは家についても同様で、入口の戸を作り出窓を作り、そのほか床板を張り天井を張ったりするが、室として最も必要なのは部屋の中の空間である。この空間の「無」があつてこそ初めて部屋の役立ちをする、と説明します。

つまりこの「無」がなければ生成物である「有」が目的とするところの働きをなすことができない、というのです。

(諸橋轍次「老子の講義」などより)

もちろん、本学では皆さんが食べて直ぐに腹を満たし、血となり肉となるような分野の学問や専門知識を修得されることに力を入れます。先ほどのたとえ話でいう粘土を捏ねて作り上げる器であり、

家の柱や戸、窓、屋根、床板などの造作にあたる部分です。そしてそれと同時に器や家屋の目的である飲食物を味わう、あるいは内部に入って寛ぐことが可能となる「内部に何もない空虚な無の部分」の涵養にも注力します。いわゆるリベラルアーツ(一般教養)教育です。先ほどのスローフードがもたらす「滋味」、「滋養」にも当たる部分です。

そしてこれこそが「大学で学ぶ」ということの意義なのではないでしょうか。大学で学ぶということは陶器を練り上げるようにに人格を陶冶することなのです。そしてその結果得られるであろう無駄と

思われるものも含む多様な能力のポートフォリオを持った有為な若者を育てて行くところが、この大学という場であると確信しております。

皆さんにも一つ是非お伝えしておきたいことがあります。

今回の新型コロナウイルスの猛威は健康面だけに留まらず日本経済や世界経済に甚大な厄災をもたらしており、この後もいろいろな形で影響が及んでくるものと予想されます。例えば皆さんがこれから過ごす4年間の途中で、経済的な困難が生ずることがあるかも知れません。万一そのような事態が起こった場合にと

いうことですが、本年度から国も修学支援制度を充実させることとしておりますし、日本学生支援機構をはじめ県や市の奨学金制度あるいは篤志家による奨学金制度もあります。本学でも独自の奨学金制度を設けて皆さんが大学生活を安心して送ることができるようサポートをしております。在学生の半分以上の方々が何らかの形でこれら奨学金を利用しておりますし、2018、2019年度の最近2年間にはそれぞれ20件を超す家計急変相談および奨学金申請があり、それぞれ適切に対処されております。経済的理由による休退学は起こしてはならない、これが私たちの願いです。休退学は自分自身や周りの方々にとっての損失だけではありません。社会にとつての損失です。私たちの大学は1学年300人強のこじんまりとした大学ですが、その分結束力の強い、面倒見のいい大学です。どんなことがあっても教員、あるいはキャンパスライフ支援委員、学務課、学生支援センター職員に相談してください。外部の専門家の紹介も可能です。親身になって相談に乗り、問題解決のために一緒になって当たります。

さあ皆さん、一緒に手を携えて本学の新しい四半世紀に向けて歩みを進めて参りましょう。この難局を乗り越えて参りましょう。

ご入学誠におめでとうございます。

私の抱負



新入生代表
情報システム学科 1年
丸山 直人

新たな挑戦で 成長目指す

暖かな春の訪れとともに、私たちは新
潟国際情報大学の入学の日を迎えること

ができました。

残念ながら入学式は中止となりましたが、学長から温かいメッセージをいただき、誠にありがとうございます。また、数々の激励のお言葉や、私たちを支えてくださった多くの方々にも、心より御礼申し上げます。

現在、私たちの生活は、たくさんの情報でできています。そのため、正しい情報を効率よく扱うことが求められていると考えます。さらに、グローバル化の影響で、海外の情報を取り入れる重要性も高まっています。大学では、そのような時代を先取りした知識を手に入れ、正し

く使う能力を培っていききたいです。また、勉強だけでなくサークルや学校行事を通して、さまざまな人と関わることで刺激を受け、成長していきたいと思っています。

これからはじまる新潟国際情報大学の4年間を有意義なものにするために、常に向上心を持って、経験豊富な先生方から多くのことを学んでいきます。そして、新たなことに積極的に挑戦していくことをお誓いし、新入生代表の、抱負とさせていただきます。



歓迎のことば



在学生代表
情報システム学科 2年
島垣 光

学生生活を 全力で楽しもう

令和2年度新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。また、保護者の皆さまにも、心よりお祝い申し上げます。在学生一同心から歓迎いたします。

これから大学生活がはじまる皆さんは今、どんな気持ちでしょうか。ドキドキ、ワクワクなどといった希望に満ち溢れた気持ちもある一方で、やはり新しい環境に身を投じることの不安もあるでしょう。皆さんは、数ある将来の選択肢の中で、ここ新潟国際情報大学への進学という選択をしました。その動機や理由は皆さんそれぞれでしょう。ですがこうして入学された皆さんには、是非とも全力で大学生活を楽しんでほしいと思っています。

一つ目は、「何事にも積極的に行動すること」です。大学は高校とは違い、自由です。そして時間もたっぷりあります。とにかく少しでも興味や関心があることで構いません。ためらうことなく「やっ

てみる」ことが大切です。是非ともそのためには、自分でやってみることを考え、行動に移すことを心がけてみてください。将来の自分の世界が、少しでも広がるきっかけとなるはずです。

二つ目は、「人との関わりや繋がりを広げること」です。皆さんの「やってみたいこと」をいざ行動に移した時、もしかしたら困難に当たることもあるでしょう。そこで助けて欲しいとき、誰かと繋がりがあれば助けてくれる人が必ずいるはずです。当然、自分と馬が合わないような人も、中にはいるでしょう。ですが、最後に自分を成長させてくれるのは人との関わりや繋がりであります。人と関わることを恐れず、大切にすることで、もしかしたら自分では気づけなかった可能性を見つけ、さまざまな体験ができるかもしれません。

最後になりますが、私は皆さんにこの大学を好きになってもらいたいです。4年間という中で楽しいことがある反面、困難に立ち向かわなければならぬこともあると思います。そんな時でも、新潟国際情報大学で過ごす日々が「楽しい」と思える学生生活を送ってもらいたいと思います。大学へ進学することは、単に単位をとって卒業をすることだけではありません。大学生のうちにしかできないようなことを全力で取り組み、楽しんでみてください。

令和に入ってから初めての新生となる皆さんの、これからの学生生活が充実したものになることを願い、歓迎の言葉とさせていただきます。

入学式は中止 遠隔授業へ

新型コロナウイルスの感染拡大を防止するため、本学では令和2年度入学式と新生ガイダンスを中止しました。せめて歓迎の意を伝えようと学長をはじめ教員と、学生会長及び在学生からのメッセージ動画をホームページで公開しました。

また授業運営については、全国に緊急事態宣言が発令されたことを受け、当分の間、原則遠隔授業を実施することとし、新入生に対し4月22日、23日の両日に遠隔授業用ノートパソコンの配布および説明会を行いました。当日は教職員、学生スタッフが入口で新入生の体調を確認後、消毒液を両手にかけて学内に入ってもらい、「密閉」「密集」「密接」の三密を避けるよう教室や時間を分け、万全の態勢で臨みました。

例年になく静かな新学期スタートとなりましたが、新入生は入学後、初めて大学に来て、新入生同士顔を合わせることで、少しホッとしているようでした。



パソコン操作など遠隔授業の説明を受ける新入生

メッセージ
動画



新入生へ

新任教員紹介



鈴木 佑也 すずき ゆうや

国際文化学科 准教授

担当科目 現代ロシア論
ロシア語

- 2014年 9月 ロシア国立芸術学研究所 Ph.Dコース(準博士課程)修了
東京外国語大学大学院 地域文化研究科博士 後期課程 満期退学
- 2015年 4月 ロシア国立芸術学研究所 Ph.Dコース(準博士)学位(芸術学)習得
- 2016年12月 東京外国語大学大学院より博士(芸術)学位習得
- 東京外国語大学(2014年10月~現在に至る)
- 東京工業大学(2018年4月~2019年3月まで)
- 上智大学(2018年4月~2019年3月まで)
- 東京理科大学(2015年4月~2019年3月まで)
- 横浜国立大学(2014年10月~2018年3月まで)
- 学術振興会 特別研究員(2016年4月~2018年3月まで)



Daniel James Aspell

ダニエル ジェイムス アスペル

国際文化学科 専任講師

担当科目 CEP

- 1990年 ミドルセックス大学人文学部 哲学史・文学専攻 卒業
- 1993年 ロンドン大学大学院 教職課程修了
- 1997年 Stanton school of English CELTAコース修了
- 2018年 6月 イギリスSunderland大学 TESOL修士課程 卒業
- 2011年 3月 新潟清心女子中学・高等学校 常勤英語講師(2017年3月まで)
- 2017年 4月 国際外語・観光・エアライン専門学校 非常勤英語講師(2018年3月まで)
- 開志学園高等学校 非常勤英語講師(2018年3月まで)
- 2018年 3月 新潟市教育委員会ALTとして勤務(現在に至る)



宮北 和之 みやきた かずゆき

情報システム学科 講師

担当科目 情報とコンピューティング
情報システム設計
データベース論
ネットワーク工学
ネットワーク理論

- 2010年 3月 新潟大学 大学院自然科学研究科 情報理工学専攻博士後期課程 修了 博士(工学)
- 2010年 4月 新潟大学 大学院自然科学研究科 電気情報工学専攻 助教(2012年3月まで)
- 2012年 4月 新潟大学 情報基盤センター 助教 (2020年3月まで)

新入生に望む

国際学部



佐々木 寛 学部長

時代を生き抜くためにはどんな力が必要でしょうか。
皆さんが本学、特に国際学部で学ぶことは、単なる知識の断片や、資格取得などに限らず専門技能だけではなくあります。今後ますます不確実性が拡大する時代に必要となる、いわばホンモノの知性や真の人間力です。
残念ながら、これまでこの国で重視さ

入ったのだから、人間の能力をひとつの物差しで推し量る偏差値思考はすべて捨て去ってください。
第二に、面白そうなことには労を惜しまないでください。アルバイトや忙しさを理由にして、所定の義務を果たすことだけに専念するつまらない日々を克服してください。誰かに誘われて面白そうだと思ったら、かならずまずは飛び込んでみて、全身で体験し、多様な学びをしていただきたいと思います。真に学ぶことは、

不確実な世界に生き抜く力を

自分が変わることで、これまでの自分の殻を破って、内に眠る新しい自分の可能性に気がついてください。
ご入学おめでとう。心から皆さんを歓迎します。皆さんと一緒に、スリルと悦びに満ちた真の「学び」ができればと思います。

経営情報学部



小林 満男 学部長

皆さんは100年に一度とも言われる世界的な疫病が蔓延する最中に大学に入学することになりました。おかげで、入学式が中止となり、授業開始も、ずいぶん遅れてしまいました。
コロナウイルス問題は、人類の文明全体のある方を問いかける地球規模の問題にほかなりません。これからの時代は、これまでの前例や常識が通用しなくなる

び続ける時代であって、わずか4年間の大学生活の中で学び身につけるべきものは何でしょうか。それは将来にわたって学び続けるための知的基盤であり、学び続ける習慣力だと考えます。
学び続ける習慣力を身につけるためのポイントは3つあります。一つ目は「素」、素直です。まずは素直に受け入れ、考え、そして行動することです。食わず嫌いで

ものでもすぐに曇ってしまいます。努力し続けること、そして磨き上げることで自分自身も輝いてくるはずです。そして三つ目は「補」、補いあうことです。どんなことでも自分だけでできることは限られています。仲間と一緒に得意なところはお互いに競い合い、そして不得意なところはお互いに補いあうようにすることにより、きつと自分たちの目標はぐっと近づいてくるはずです。自分（I）中心の立場に固執せず、相手（YOU）の立場にも考えを巡らせ、時には自分に間接的に関係する人々（WE）にも視点を向けることで『自分の世界』は大きくひろがり、豊かになっていくはずです。
スマホを使う際、たまにはこの「素磨補」の話を思い出してください。

学び続ける習慣身につけよう

新型コロナウイルス感染症で社会活動が大幅に制約されている中、皆さんは縁あって新潟国際情報大学に入学されました。人生100年時代が到来しつつあり、大半の人は70歳あるいは80歳に至るまで何らかの形で仕事に従事しながら学び続けることになるでしょう。大学卒業後50年以上もの間、働く現場や社会で学

いどとどろく視野が狭くなってしまいます。鎧を脱ぎ捨て、友達やさまざまな人々と交流することをおすすめします。二つ目は「磨」、磨くことです。自分の得意なことはドンドン深めていくとよいでしょう。磨くことを怠ったらどんな

場にも考えを巡らせ、時には自分に間接的に関係する人々（WE）にも視点を向けることで『自分の世界』は大きくひろがり、豊かになっていくはずです。
スマホを使う際、たまにはこの「素磨補」の話を思い出してください。

国際学部
国際文化学科

第1回 7/12日 10:20▶15:30	第2回 8/2日 10:20▶15:30	第3回 9/6日 10:20▶15:00	第4回 12/13日 13:30▶17:00
------------------------------------	-----------------------------------	-----------------------------------	-------------------------------------

オープンキャンパス²⁰²⁰

高校生のためのnuis体験イベント!

- ◆学部・学科紹介 ◆入学選抜情報 ◆模擬授業
- ◆語学体験（英語・ロシア語・中国語・韓国語）
- ◆入学選抜対策講座 ◆コンピュータ実習
- ◆実験体験コーナー ◆入学選抜・海外留学・就職・学生生活個別相談
- ◆小論文対策講座 ◆キャンパスツアー ◆在学生によるなんでも相談 ◆保護者対象プログラム

無料 送迎バス運行

（1回目） 7/12日 （2回目） 8/2日

会場 新潟国際情報大学 本校
新潟市西区みずき野3-1-1 (JR越後赤塚駅下車 徒歩7分)

参加お申込み 本学ホームページまたは下記までお申込みください。

※時間やイベントについては、変更または中止となる場合があります。最新情報は本学ホームページをご覧ください。

学食体験

お問い合わせ先 **入試・広報課** 〒950-2292 新潟市西区みずき野3-1-1 TEL 025-264-3777(直) FAX 025-264-3780 E-mail nyushikouho@nuis.ac.jp

zoom UP ズームアップ研究室

中でも人気なのは就職に有利とされるTOEICや英検・観光英検など資格試験対策用の書籍だ。各種試験日が近づくと対策を希望する学生でごった返す。指導しきれないとみるや率先して上級生が下級生の面倒をみてくれる。ここでは学年や専攻を超えた絆や繋がりが生まれ、下級生にそ

6階の角部屋に明るい陽射しに包まれ、住人が居ようが居まいが365日ドアが開かれた一風変わった研究室がある。英語好きはもちろん、得意ではないがスキルを高めたい、資格試験対策や留学相談、時には人生の相談などさまざまな目的を持った学生が集う場である。研究室内には資格試験対策用の書籍が多くを占めるが、専門である教育学・教職系とりわけ、言語学、特に第二言語習得論(SLA)、チョムスキー関連の書籍も豊富に揃っている。

「YASUKO研」って？

国際文化学科 講師 佐藤 泰子



ニュージーランドへの海外実習に参加した学生と国立ワイカト大で(2019年・左端が筆者)

“Learning English Opens the Doors to the World & Your Dreams”

の伝統が引き継がれている。私の担当は主に基礎教育科目。「英語基礎BE」「総合英語Integrated Skills in EFL」などリベラル・アーツを支えるコア科目である。人気のCommunicative English Program (CEP)を下支えし、専門教育を学ぶために必要とされる基礎知識の土台を担っている。共通言語に位置付ける英語習得を目的に、両クラスとも全て英語による授業が実施されている。そのため、サポートが必要な学生のために授業を補助する学生(student assistant)が欠かせない。

米国は60年代から現在に至る過程で教育専攻の大学院生がTA (Teaching Assistant)として学部向けの授業を行い、リベラル・アーツの基礎を担ってきた。当時、教育を専門とする私もその一人であったが、その主な目的は教育の質と公平性、また院生の経済的な支援を目的とするものである。

その米国での経験を活かし、私の授業でも学生を補助し指導するstudent assistant (SA)を採用している。45分という短い授業を有効かつ効果的な授業運営に繋げるためだ。理解度が異なる学生に寄り添いながら、個々の質問に丁寧に答えてくれる頼もしい存在でもある。彼らは自発的に手を挙げ、授業内外でも率先して指導や助言に当たる良き先輩、良きロール・モデルとなっている。専門教育を支える基礎教育の充実こそが、大学教育の質を高めると同時に人材育成に直結するとの強い思いがある。

私の教育理念は新潟、日本の英語教育を牽引する気概のある学生を育成、輩出していくこと。そのため、グローバルな教育は欠かせない。学生を連れ、積極的に海外の学会へ足を運び、共に学ぶ。“Learning English Opens the Doors to the World & Your Dreams” 6階の“とびら”は世界へ、夢へと続く“DOORS”、それが605研、通称YASUKO研である。

6大学間合同ゼミ発表会

私たちが内田応用ゼミナールでは「リーグから見つめる地方格差の研究」というテーマのもの

この発表会は、日本大学商学部の高井ゼミナールの学生をはじめ、神奈川大学、成城大学、関東学院大学、高崎経済大学などの学生も参加し、各ゼミで行った研究成果を発表するという場でした。各大学の発表内容は、主にビジネスに関するもので、企業研究やビジネスモデルの研究、公表データ分析などでした。



合同ゼミ発表会でプレゼンする後藤瞭太さん

リーグから見つめる地方格差の研究

—経営学科・内田応用ゼミ

しかし、他大学の学生のレベルも高く、指導教員がついていなくても自分たちだけで発表したり、質疑応答では鋭い観点からの質問が飛び交っていました。発表内容だけでなく、他大学の学生の知識量や発表の仕方に毎回感心させられ、とてもいい刺激になりました。

来年度の参加もお声がけをいただいたので、よりレベルアップして臨みたいと思います。

(経営学科 内田応用ゼミナール)

3年後藤瞭太

と、「都市と地方の人口格差はリーグの環境に影響を及ぼしているのか」というリサーチクエストを設定し、人口によるリーグのクラブ成績や集客率のデータを収集し、実証しました。クラブ情報の開示が少ない中、ゼミ生全員で資料を集め、各人に役割を分担し、先行研究の検討やデータ分析を行うことで当日の発表は私一人で行いましたが、ゼミ生全員の努力が実を結び、他大学の学生や教員からも評価していただけたような立派な発表ができたと感じています。

韓国朝鮮文化論



発表する
古川優美さん

『韓国朝鮮文化論』では、1月24日、本学の卒業生・古川優美さん（2017年卒業）による「韓国の文化コンテンツ研究の現況と今後の可能性」という演題での特別講義が行われました。

古川優美さんは、在学中、派遣留学（慶熙大学校）に参加したあと、4年次の1年間交換学生として光云大学校に学びました。卒業後は韓国政府の国費留

学生に選ばれ、韓国外国語大学一般大学院グローバル文化コンテンツ学部文化コンテンツ学科（修士課程）に進学し、今年の2月に卒業予定、という状況でした。たまたま新潟に里帰りしているという連絡を受けて急拠企画した特別講義でした。

韓国で定着する文化コンテンツ学

卒業生 古川優美さんが特別講義

文化強国と称される韓国。今やK-POP、映画、ドラマなどさまざまな韓国の大衆文化は世界の人々に愛され消費されています。韓国の大学や大学院では文化コンテンツ学が新しい学問領域としてすでに定着していく、産学協力のプログラム等も

関係の悪化の影響はないかなどの質問や、自分の目標に向かって突き進んでいく先輩の姿に感銘を受けた、文化を発信する側の内部の話がとても斬新で面白かった、など感想を述べてくれました。先輩後輩が互いにいい刺激を受けて学びあう場になったことが教員としては何よりもうれしかったです。

（国際文化学科 教授 申銀珠）



講演会風景

新潟から海外に発信したいこと

本学は新潟日米協会法人会員としてさまざまな取り組みに参加・協力しています。その一つが在

日米国大使館・同協会共催事業の講演会・歓迎会および国際交流会（新潟県・市後援）です。そのプレイベントとして学生ブ

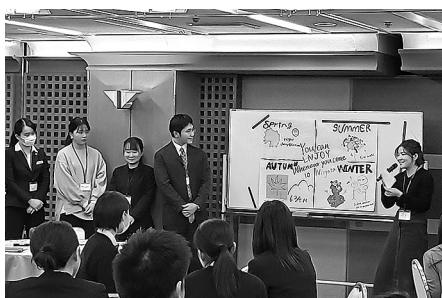
絶妙な英語表現に拍手

「松之山の媚投げ」——竹内由貴さんが発表

語）が2月14日、新潟市の万代シルバーホテルで開催され、国際学部から3名のほか、県内の高校・専門学校・大学、外国人留学生など総勢約40名が参加しました。今年のテーマは「新潟から海外に発信（PR）したいこと——あなたが考える新潟特有のもの／こ

ととは？」。アクティブラーニングに基づき、それぞれの出身地域の食や文化・観光スポットなど思い思いに付箋紙に書き留め、最後にリーダーを中心にアイデアを模造紙にまとめ、発表。その間、私を含むファシリテーター教員が英語の表現やプレゼン原稿など、議論が円滑に進むように助

られると、会場から拍手と歓声が沸き起こりました。最後に、評としてケルシー・デリナルデイス在日米国大使館員から「私の出身地であるコロラド州にも固有の文化があります。新潟県には春の桜、夏の花火、秋の紅葉、冬のスキーなど四季折々、素晴らしい文化があることを知り、佐渡にも興味を持ったので是非行きたいです」と温かいメッセージが送



マイク片手に発表する竹内由貴さん

発表では竹内由貴（国際文化学科4年）さんが「松之山の媚投げ」を紹介。絶妙な英語表現で婿役の男子学生が実際に投げ

歓迎会では留学や奨学金について直接大使館員と意見交換する機会にも恵まれ、学生にとって有意義な時間となりました。（国際文化学科 講師 佐藤泰子）

湧源

編集後記に代えて

情報システム学科 教授 西山 茂

人生何が起きるかわからない。今回のコロナウイルス騒動を持ち出すまでもなく、人生100年と言われる時代では想像もしていなかったことだらけである。

私事であるが・・・私はモノイジリ好きと父の影響（通信系技術者）で、いつかは通信系の技術者になると決めていた。大学は通信系の学部に進み、卒業後、運よく通信会社の通信系の研究部署に配属された。5年間はこの部署にいたのであるが、ある日突然「これからはソフトの時代だから、ソフトを勉強してこい」と言われて、なぜかコンパイラ（コンピュータの機械語翻訳プログラム）研究の部署に配置転換させられた。びっくりしたが、学生時代にはコミュニケーション制の通信機を研究していたので、どうかなると思った。その後勉強してこいは反故にされ、通信会社を退職するまで、ソフトウェアの世界にどっぷりつかった。通信会社を退職した後、ソフト系の子会社に就職するつもりでいたのであるが、先に通信系の子会社に移った直属の上司だった方から、「うちに来い」と言われ、予定外の通信系の子会社に勤めることになった。その通信会社を退職する折に、故郷の新潟市役所が募集していた任期付きの職員募集に応募し、運よく採用され4年間勤務した。自分が公務員になろうとは思っていなかった。今度市役所を退職するための職探しの中で本学の教員募集に応募し、これもまた運よく採用が決まった。まさか自分が先生に、である。平凡な市井の人である私の人生でもこれだけの予定外のことが起こった。小さい予定外はおそらく数えきれない。新しい道に進む方々、自分の思いとは違う方向に進むことになっても落胆しなくてよい。人生何が起るかわからない。だから楽しいのである。

出会い新鮮 海外派遣留学

アメリカ

私にとって留学は初めての海外訪問であり、これまで日本を出たことがなかったため、とても不安を感じていました。その不安とは裏腹に飛行機に乗っている間、私たちは

実を結んだ英語で話す努力

国際文化学科3年 長谷川 月

まではいけないと思ひ、夜の2時

とても興奮し期待に胸を膨らませていました。16時間後、私たちはセントラル・ミズーリ州立大学に到着しました。留学中、私たちはリーデイン

来た学生たちは私より遥かに英語が得意で、彼らに「今、何て言ったの？」と聞かれることが多く、私は徐々に自分の英語に自信を失い、英語で自分自身を自

るようになりました。それとともに、自分の気持ちを韓国語でうまく伝え、コミュニケーションをとることができるようになりました。他国の留学生と毎日一緒に勉強することはとても楽しく、刺激的な時間

韓国

私たちは昨年9月から4カ月間、慶熙大学校で韓国語を学ん

もたくさんあり、自身の成長を感じています。国籍や文化を超えて感情を共有するすごさを、身をもって実感しました。

新たな視点で広がる世界

国際文化学科3年 湯田 真子

見」です。慶熙大学校のクラスに

私たちは昨年9月から4カ月間、慶熙大学校で韓国語を学んできました。初めは韓国語で会話がうまくできず、仲良くなるのに時間がかかりましたが、次

国籍を越えて感情を共有

国際文化学科3年

上村 菜々美

私はこの留学で、日本人にはない積極性や

第に授業にも慣れ、クラスメイトの面白い回答に笑ったり、授業で見た映画のシーンで一緒に泣いたりしたことで、心を許せ

海外提携大学に学生を派遣する「令和元年度派遣留学・夏期セミナー」が実施され、5カ国・5大学へ合計

60人が留学しました。8月上旬出発のカナダコースから12月末に帰国したロシアコースまで、最長4カ月におよぶ留学報告を寄せてもらいました。



韓服を着てタイムスリップ



ハロウィンパーティーにて(筆者右端)

の考えを共有することもできるようになっていました。スターバックスでフラペチーノを流しように注文できるようになりました。いまでは滞在中のすべてが、良い思い出になったと実感しています。

最後に、私が留学で得たことを二つ紹介します。一つは「英語は単なる言語ではなく、人々をつなぐ橋である」、もう一つは「失敗は失敗で終わらせてはいけない。失敗は成功につながる」ということです。

私はKポップに興味があり、そこから韓国語を学ぶ意欲が湧き、昨年9月から4カ月間、韓国留学という貴重な体験をしました。

出発時は日韓関係の悪化を伝えるニュースが多くとても不安でしたが、実際に韓国で生活してみると、私たちにとても優しく温かく接してくださる方が多く、安心して過ごすことができました。

この留学生活で、二つの大切なことを得ることができました。

一つは、異国で生活する上で欠かせない「協調性」です。時に励まし合い、時に笑い合い、さまざまな時間を共有してきた留学のメンバーには、本当にお世話になりました。

もう一つは「新たな視点の発見」です。

これからの日常生活のさまざまな場面で、活かすことができると思います。

저는 한국에 가서 더 한국에 관심이 커졌습니다. 기회가 되면 다시 한국에 가고 싶습니다.

(私は韓国に行つて、より韓国について関心が湧きました。機会がありましたら、また韓国を訪れたいです。)

充実の日々

異文化に学ぶ



北京師範大学教室にて
同じクラスのみんと(左端が筆者)

中
國

め、北京師範大学に留学しました。私のクラスには日本人がいなかったため、授業の初めはとても不安でしたが、クラスメイ

ものでした。私のクラスは韓国人や、ロシア人、イギリス人などが在籍していました。彼らは、とても流ちょうに中国語を話し、授業中は、私をいつも助けてくれました。

中国人の先生もとても優しく

生活文化通し理解深める

國際文化學科3年

樋口 真矢

トはとても優しく、あまり中国語ができない私にいつも話しかけてくれました。

大学では、リーディング、リスニング、会話の授業があり、すべての教科それぞれ意味があ

つでも質問してね」と言ってくれました。先生は、中国語を教えてくれるだけでなく、おいしい食べ物ことや、祝日の過ごし方など、中国の文化や生活についても教えてくれました。授

業を受けるたびに、中国についての知識が増えていきました。クラスメイトも中国の状況をとっても理解しているので、よく一緒に出掛け、おいしいお店にも行きました。日本に帰ってきてからも、彼らと連絡を取り合っています。

北京で過ごした時間はとても有意義でした。これからも中国

語の勉強を頑張ってくださいます。大学からの奨学金をはじめ、留学前や留学中の手厚いサポートがあったからこそ、私は留学に参加し、無事に帰国することができました。私たちの留学を応援し、支えてくださった、區先生、佐藤若菜先生、学務課の方々、本当にありがとうございました。

ロシア

私はウラジオストク国立経済大学に約4カ月間留学し、貴重な経験をする事ができました。

で、毎日学校に行くのが楽しみでした。ロシアで学んだことを忘れないためにも、これからもロシア語の勉強を継続していこうと思います。

カナダ

出発前の壮行会のことを思い出すと、その時に比べて自信に満ちた顔に変わったように感じます。カナダでの生活を共にした仲間も同様に成長しました。

特にアルバータ大学で行った
プレゼンテーションは、お互い

私は1カ月をカナダで過ごす中で、一つ大きな気づきがありました。それは出会いの力はすごいということです。

この留学の中で忘れられない
思い出の一つで、通学のために
電車に乗っていた時のことで

出会いの力で成長を実感

経営学科3年

後藤 瞭太

持ったおじ
いさんが座

の成長が実感でき、とても感動しました。どんなプレゼンを行ったかというと、本学の特徴や、新潟の良さを「地形」「米」「川」の三つのチームに分かれて発表しました。現地の人々の反応も良く、非常に良いプレゼンにな

っていたのですが、あとから乗り込んできた男性がそのおじいさんの隣の席に座って、「良いバイクですね」と話しかけたのです。



Cariwest Paradeで(最後列、仮面の男性の右が筆者)

生まれるのだと思ったからです。思い切つて他者と関わることで、もっと自分を成長させるチャンスがあることを学びました。

語学でつながる友達の輪

國際文化學科3年

ができたと思っています。

私は毎週、ロシア語スピーキングクラブと英語スピーキングクラブに参加していました。

最後に、私たちの留学を後押しし、協力してくださった皆さま、本当にありがとうございました。

小飯塚 百佳

と思つてい
ます。

そこでロシア人とロシア語や英語を使って交流しました。そのため、私はたくさんの友達をつくることができました。休みの日は、彼らと過ごすことが多い、彼らは、私に英語を使ってく、彼らのロシア語を教えてくださいました。

休日も学ぶことが多く充実していましたが、もちろん授業も楽しかったです。先生もクラスメイトの韓国人もととても親切



ウラジオストク噴水広場にて

キャンパス・ライフ研修会

キャンパス・ライフ支援委員会では、障がいのある学生

に対して、障がいを理由とした不当な差別的取扱いをしない、また権利利益を侵害しないために、

本学の学生や教職員の理解を深める取り組みを行っており

特性の理解・対話と気づき・自己肯定感

発達障害学生との接し方学ぶ

この取り組みのひとつとして、「発達障害のある（ことが疑われる）学生への支援・配慮」に関する研修会が、令和2年1月8日、本校（みずき野キャンパス）大会議室で

開催され、本学の教職員43人が参加しました。

研修会では、新潟大学教職大学院教授の長澤正樹氏をお迎えし「特別な支援を必要とする学生への対応」ADHD

的な問題（二次障害、障害者差別解消法と合理的配慮等）に関して、たくさんの方の具体例や新潟大学での取組事例を交えてお話しいただきました。質疑応答では、「配慮と指導の境界は？」「配慮内容に対する他の学生からの反応は？」「カ

科学の祭典

「青少年のための科学の祭典 新潟県大会」が令和2年

2月1日、2日の両日、長岡市のアオーレ長岡で開催され、河原研究室（教員1名、学生7名）で「プログラミング体験

「青少年のための科学の祭典」は、理科や数学あるいは科学技術といった分野の実験や工作を一堂に集め、小

学生・中学生・高校生らを中心とした来場者に楽しんでもらうイベントです（青少年のための科学の祭典新潟大会実行委員会、日本化

張版です。親子連れの小学生を中心に

プログラミング体験に300人 河原研究室がブースを出展



「青少年のための科学の祭典」は、理科や数学あるいは科学技術といった分野の実験や工作を一堂に集め、小

学生・中学生・高校生らを中心とした来場者に楽しんでもらうイベントです（青少年のための科学の祭典新潟大会実行委員会、日本化



（左）プログラミング体験の様子（右）河原研究室のブース

・（2020年2月13日～14日）「中国と東南アジアにおける政治経済的変容と女性の移動」令和元年度東南アジア地域研究研究所共同利用・共同研究拠点「東南アジア研究の国際共同研究拠点」年次研究成果発表会プログラム（京都大学・東南アジア研究所）

佐藤 泰子（国際文化学科・講師）

・（2020年2月14日）「学生プレゼンテーション大会」在日米大使館・新潟日米協会共催事業（万代シルバホテル）

藤田 美幸（経営学科・准教授）

・（2019年9月13日～15日）「ハイブリッドまちあるきがもたらす地域資源の価値に関する一考察」地域活性学会 第11回研究大会（長崎県大村市）

アレクサンドル・ブラーソル（国際文化学科・教授）

・（2020年2月15日）「近くて遠い国、ロシア」新潟日報社連携講座 異文化塾（新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス）

堀川 祐里（国際文化学科・講師）

・（2019年12月14日）「戦時期の貧困母子に対する救済対策－母子保護法の運用方針に着目して」社会保障研究会（東京大学・本郷キャンパス 赤門総合研究棟738教室）

矢口 裕子（国際文化学科・教授）

・（2020年2月25日）「ジェンダーギャップ指数121位と日本の政治課題」市民政治塾（新潟国際情報大学・新潟中央キャンパス）

山田 裕史（国際文化学科・准教授）

・（2019年11月23日）「カンボジアにおける選挙不正と選挙監視」「東南アジアの選挙監視と政治体制に関する比較研究」研究会（名古屋大学）
・（2019年12月21日）「ボル・ボト政権後のカンボジア政治（1979～2019年）」慶応義塾大学法学部「体制移行期の法と正義」（慶応義塾大学）
・（2020年3月18日）「カンボジアにおける汚職取締の現状と課題」「新興国における汚職取締の政治学」研究会（京都大学）

3) 委員・社会的活動・記事・その他

小宮山 智志（経営学科・准教授）

・（2019年11月9日）小出小学校地域懇談会：小出の明日を語る会 講演「いままぜ『社会に開かれた教育課程』が必要か」（小出小学校）
・（2019年12月17日）「中野小屋地区各種団体責任者の集い」における各団体連携・協力促進のためのワークショップ（ファシリテーター）（中野小屋連絡所）

佐藤 泰子（国際文化学科・講師）

・（2020年3月）『オアシス21』No.94「シニアカレッジ新潟 まちかどふれ愛英会話講座」（6-7頁）（2020年3月号）新潟県社会福祉協議会発行

高木 義和（情報システム学科・教授）

・（2020年12月25日）特定個人情報保護評価書の点検 令和元年度第2回新潟市個人情報保護審議会（新潟市役所）

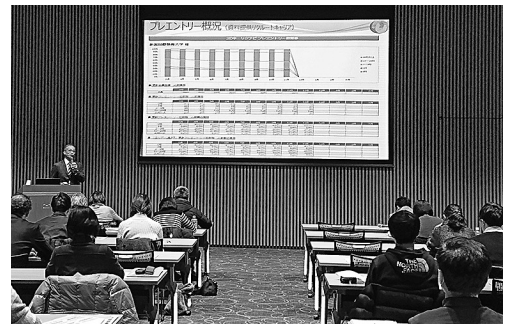
藤田 美幸（経営学科・准教授）

・（2019年7月27日～8月4日）公益財団法人 全日本スキー連盟；独立行政法人 日本スポーツ振興センター委託事業「女性アスリート強化支援」（女性アスリート競技大会等プログラム）：2019年度 SESSION 1 外部評価者（宮城県・東北クエスト）
・（2019年11月25日）公益財団法人 全日本スキー連盟；女性アスリート強化事業 中間評価・検証会議（国立スポーツ科学センター）
・（2020年1月11日）ひろしま雪山誘客促進協議会主催：「チャレンジ！スノーボード Powered by Tomoka Takeuchi」講師（広島県・スノーリゾート猫山）
・（2020年2月21日～22日）新潟大学数理学分野における東アジア地区の次世代研究者育成プログラムにおける日本事情研修 講師（新潟県津南町 ニュー・グリーンピア津南）

山田 裕史（国際文化学科・准教授）

・（2020年2月13日）「西日本新聞」（2月13日付）「カンボジア優遇関税『一部停止』経済影響、最悪は回避」にコメント掲載

アークランドサカモト(株)	協栄信用組合	(株)中央製版	(株)ビット・エイ
アースサポート(株)	(株)クボ製作所	(株)津南高原開発	(株)ファミリーネット・ジャパン
(株)アイエフコンサルティング	(株)クリエイション・ビュー	燕市役所	(株)フェリーチェ
(株)アイ・プライド	(有)ケアアンドケイ	DSP(株)	福田道路(株)
青山商事(株)	警視庁	TBCグループ(株)	富士ゼロックス新潟(株)
あおやまメディカル(株)	コクヨ北陸新潟販売(株)	(株)ティルwind	(株)フジミック新潟
アグリアルティリンググループ	コネクシオ(株)	デジタルアドバイジング・コンソーシアム(株)	(株)富士薬品
(株)アクティオ	コマツカスタマーサポート(株)	(株)電算	(株)船栄
(株)アスカプランニング	(株)コメリ	(株)東海日道パートナーズEAST	(株)ブルボン
アルカディアシステムズ(株)	(株)コロナ	東京アプリケーションシステム(株)	(株)ベニコムフューチャー
(株)アルコン	コンピュータロン(株)	東京映像美術(株)	(株)ポーラ
(株)安中製作所	坂井建設(株)	東西運輸(株)	(株)北越ケーズ
(株)アンブラグド	(有)桜井建設設計	東芝ホームテクノ(株)	(株)ホクエツ信越
イオンリテール(株)	(株)サンケイ情報ファシリティ	(株)トーダイ	(株)北陸電機商会
(株)井関新潟製造所	三条信用金庫	(株)トッキー	星野楽器(株)
(株)インテック	(株)サンソウシステムズ	外山産業グループ	(株)ほしゆう
(株)ウィザップ	(株)ジェイ・エス・エス	トヨタ部品新潟共販(株)	(株)ホテル井
ウエルシア薬局(株)	(株)システムフロンティア	(株)新潟クボタ	(株)ホテル新潟
(株)ウオロク	シマト工業(株)	(株)新潟グランドホテル	ホテルニューオータニ長岡
(株)内山溶接工業	(株)ジム・コンピュータ・サービス	新潟県警察	(株)ホンダ四輪販売新潟
(株)エイエイピー	ジャパニクス(株)	(株)新潟県農協電算センター	(株)マーキュリー
(株)江口経営センター	昭和電機産業(株)	(株)新潟ケンペイ	まいばすけっと(株)
(株)越配	(株)シリウス	新潟航空サービス(株)	(株)松井組
(株)エヌ・ティ・エス	新日本海サービス(株)	新潟サンリン(株)	(株)マルゴシステム
(株)NHC	シンワ測定(株)	新潟信用金庫	(株)マルサン
(株)NS・コンピュータサービス	杉山金属(株)	新潟染工(株)	丸高工業(株)
エヌエスエレクトロニクス(株)	(株)鈴木コーヒー	新潟総合警備保障(株)	(株)マンションセンター
NNC(株)	(株)スペースアルファシステム	新潟竹内ハガネ(株)	(株)三田ホールディング
(株)NCI	(株)諏訪田製作所	新潟日産モーター(株)	(株)源吉兆庵
(株)エヌ・シー・エス	スワロー工業(株)	新潟フィールズパートナー(株)	明治安田生命保険(株)
(株)N's style	セキスイハイム信越(株)	新潟みらい農業協同組合	(株)明昌堂
(株)エヌ・ティ・エス	全国共済農業協同組合連合会	新潟メタリコン工業(株)	明和工業(株)
(株)エフイーティーブイ	(株)セントラルパートナーズ	ニエプロ(株)	(株)メディア・アナライザ
(株)エム・アイ・ディジャパン	(株)総研システムズ	(株)日産サティオ新潟西	モーターニイガタ(株)
遠藤商事(株)	(株)ソフトウェアサービス	日産プリンス新潟販売(株)	(株)ヤマダ電機
大野精工(株)	(株)第一実業	日本精機(株)	(株)UK
岡三にいがた証券(株)	第四コンピュータサービス(株)	日本ビルコン(株)	ユナイテッド
(株)オタケ	(株)第四北越フィナンシャルグループ	日本ケミコン(株)	(株)吉運堂
(株)小野組	太平興業(株)	日本生命保険(株)	(株)ヨシカワ
小柳建設(株)	太平ビルサービス(株)	(株)日本ハウスホールディングス	ライクスタッフィング(株)
海上自衛隊	(株)高儀	(株)ニューメディア	陸上自衛隊
開発技建(株)	(株)たかだ	(株)農協観光	リコージャパン(株)
カトウ・サイン工業(株)	田上化工(株)	(株)ハーヴィッド	(株)リベア
カナカン(株)	(株)タカヨシ	(株)ハーモニック	(株)リンコーコーポレーション
神山物産(株)	(有)佐武会 武内歯科医院	パワマ工業(株)	ルートイングループ
(株)カワチ薬品	(株)田中衡機工業所	羽田空港サービス(株)	(株)レーザーテクノ
北蒲みなみ農業協同組合	(株)タマハシ	(株)ハンズワタベ	(株)レックス
キャノンイメージングシステムズ(株)	チェスナットコンサルティング(株)	東日本旅客鉄道(株)	(株)ワークポート
(株)キュービット	中越通運(株)	(有)ビズカンパニー	令和2年3月現在(五十音順)



講師を務めたキャリア支援課 西脇課長

就職活動のコツを学ぶ「面接官をうならせる就活セミナー」が昨年12月2日、新潟日報メディアシップで開かれました。

学生と保護者約40人が参加し、就職環境の現状を踏まえたうえで、新聞を活用した情報収集や業界分析の方法などを学びました。

セミナーの講師を務めた最後に西脇課長は「学生のデータを比較しながら、学生の活動量と就職率の関係を紹介しました。最後に西脇課長は「学生は、大学の売り手市場という言葉を聞き、学生たちがどのような就職活動をしているのか、首都圏と北信越地区の就職環境の現状を踏まえたうえで、新聞を活用した情報収集や業界分析の方法などを学びました。」と述べ、インターンシップや企業説明会などへの積極的な参加を呼びかけました。

キャリア支援課長・西脇氏

視野を広げ 職業観養おう

教員の活動 (本人申告による)

1) 研究論文・図書

白井 陽一郎(国際文化学科・教授)

・(2020年1月)「クロスロードのEU－歴史的使命を担うべき政体は矛盾の塊」『図書新聞』(2020年1月1日号)

佐藤 若菜(国際文化学科・准教授)

・(2020年2月28日)『衣装と生きる女性たち：ミャオ族の物質文化と母娘関係』京都大学学術出版会

白井 健二(経営学科・教授)

・(2020年2月)「Mathematical Modeling and Risk Management of Production Systems with Jump Process via Stochastic Analysis」International Journal of Innovative Computing, Information and Control, Vol.16 No.1 (153-171)

瀬戸 裕之(国際文化学科・准教授)

・(2020年2月)瀬戸裕之、河野泰之「序論 東南アジア大陸部の戦争と地域住民の生存戦略をみる視点」『東南アジア大陸部の戦争と地域住民の生存戦略－避難民・女性・少数民族・投奔者からの視点－』(15-49頁)

・(2020年2月)瀬戸裕之「第3章 ラオス中部地域にみる被戦争社会の変容と地域住民の生存戦略－戦争期の組織的移住と生活再建を中心に－」『東南アジア大陸部の戦争と地域住民の生存戦略－避難民・女性・少数民族・投奔者からの視点－』(113-164頁)

・(2020年2月)瀬戸裕之、河野泰之「おわりに 戦中・戦後の生存戦略と被戦争社会に関する仮説」『東南アジア大陸部の戦争と地域住民の生存戦略－避難民・女性・少数民族・投奔者からの視点－』(291-304頁)

藤田 美幸(経営学科・准教授)

・(2019年12月)「ハイブリッドまちあるきによる地域資源の物語化－[2017ふるまちクエスト]を事例として－」(査読有)モバイル学会誌 vol.9 No.1/2(1-6頁)

吉澤 文寿(国際文化学科・教授)

・(2019年12月)吉澤文寿(李賢訳)「現代韓日問題の起源 韓日会談と『戦後日韓関係』」一潮閣(韓国・ソウル)(495頁)

2) 学会・研究会・講演等

小山田 紀子(国際文化学科・教授)

・(2019年8月27日)「植民地支配・脱植民地化の比較研究－フランスアルジェリア関係と日朝関係をめぐって－」第2回 国際共同研究会議(主催者)(明治大学)

・(2019年9月7日)「人の移動から見るフランス・アルジェリア関係－植民地化・独立戦争・脱植民地化をめぐって－」新潟AALA 講演(クロスバールにいがた)

佐藤 若菜(国際文化学科・准教授)

・(2019年11月9日)「中国貴州少数民族の服飾文化：ミャオ族の事例から」共立女子大学・短期大学総合文化研究所「中国貴州少数民族の服飾文化と歌文化」(共立女子大学)

・(2019年12月26日～27日)コメンテーター(郭春麟「拙作をめぐって」のヒトとモノの相互関係－苗族の飾の現れを中心として)「東アジア人類学研究会第6回研究大会(国立民族学博物館)

・(2020年1月17日)主催・司会(Prof. Mei-Ling Chien "Framing Subjectivity, Identities, Mobility & Multiple Modernities: The Life History Narratives and Migratory Experiences of the Hmub Women in Southeastern Guizhou") IPCR「中国と東南アジアにおける政治経済の変容と女性の移動」第4回研究会(京都大学・東南アジア研究所)

・(2020年1月24日)主催・司会(櫻田涼子「選択肢のはざままで揺らぐ決心－マレー半島における華人女性の移動と都府関係」、小島敬裕「国民党の『眷属』としての少数民族女性－雲南から台湾への移動と生活の再構築」) IPCR「中国と東南アジアにおける政治経済の変容と女性の移動」第5回研究会(京都大学・東南アジア研究所)

・(2020年1月30日～31日)『鳥居龍蔵の西南中国調査』国立民族学博物館共同研究会「人類学／民俗学の学知と国民国家の関係：20世紀前半のナショナリズムとインテリジェンス」(徳島県立鳥居龍蔵記念博物館)



新 潟 国 際 情 報 大 学
学 長 野 崎 茂

晴れて学士の学位を授与された情報文化学部166名、国際学部114名の皆さん、ご卒業おめでとうございます。新潟国際情報大学の役員、教職員、関係者一同心より祝福致します。併せてご家族、ご友人、関係者の皆さまにもお慶び申し上げます。

新潟国際情報大学は昨年創立25周年を迎え、これまでに皆さんを含めて累計6654名の卒業生を送り出して参りました。その建学の理念は「日本文化の理解の上に立ち、国際的視野のもと、情報文化の発展に貢献できる有為の人材たんとする意欲のある青年を教育し、健全な心身を持つ、個性豊かな人間形成に資する」と謳っております。皆さんは元号が令和に改まってからの本学最初の卒業生であります。そうした記念すべき年の卒業式典であります。各国各地に新型コロナウイルスによる肺炎疾患などの蔓延という由々しき事態が生じ、誠に残念ながら中止の已む無きに至りました。記念すべき門出の日への思いがけない横やり。誠に痛恨の極みであります。さて、今私たちが過ごしている現代の日本社会を「国際化」という観点で見てもみましょう。国際交流はますます盛んとなり、本学もその大きな流れに乗って進んで参りました。本学からは毎年露、中、韓、米、加国などに留学生を派遣し、これまでに中、

韓、ベトナム、スペインからの留学生を受入

れてきました。本学におけるこうした流れはこれからも変わりません。日本で働く外国人材も増えました。「観光ビジョン実現プログラム2019」においては訪日外国人旅行者数2020年40百万人、2030年60百万人という目標も掲げられました。「持続可能な開発目標(SDGs)」ということで、貧困や格差の是正、気候変動対策など人類が挙げて取り組まなければならない17のユニヴァーサルな目標と169の具体的なターゲットや施策が掲げられております。国際化、グローバル化の流れはこのように順調に進んでおりました。ほんのしばらく前までは。

同様に「情報化」という観点から現代の

変革のうねり捉え 理想世界の解を求めよ

日本社会を振り返って見ましよう。皆さんが生まれた1990年代末には携帯電話でメールやインターネット回線への接続ができる「iモード」が一世を風靡しておりました。いわゆる2Gそして3Gの時代です。2010年代にはスマートフォン普及に伴う通信の高速大容量化が進み4Gの時代に入り、今年はいよいよ日本でも5Gサービス開始となりました。これにより「高速大容量」、「高信頼・低遅延通信」、「多数同時接続」が可能となりAI、IoT時代の基盤となる通信インフラが整備されると言われております。まさにこの世界は日進月歩の勢いでありまう。

私たちはそして世界はこうした国際化、情報化を推し進めることによりコストの極小化、ベネフィットの極大化を図ると共に、便利さを追求してきました。国境を越えた

サブライチエーションの構築などはその好例と言えます。しかしながらしばらく前からこうした流れに見直しの兆しが見えていたことも確かです。世界経済をけん引していた米国がサブプライムローン問題で変調をきたし始めた2007年後半以降には「デカップリング」、つまり米国経済と新興国経済等とは切り離して考えた方がいいのではないかと、ということが議論されておりました。あまりに精緻かつ複雑に、それも国境を跨いで組み上げられた産業の連鎖。これが災害などで一たび目詰まりを起こすとその影響は連鎖の輪の末端まで及び、被害は甚大なものになります。現在進行中の新型コロナウイルス騒動はその典型例と言えましようし、それ以前からトランプ大統領が声高に標榜していた「自国第一主義」も、あるいは米国の中国との貿易戦争などに現れている関係見直し論も、こうした連

鎖の世界をもう一度整理し直してみようという考え方に通ずるところがあるのかも知れません。実際のところ今般の新型コロナウイルス騒動を機に、基幹産業の生産拠点の自国回帰や複数場所への分散移転という声も最近耳にするようになっております。またいろいろな媒介手段を通して、噂、デマ、フェイクニュースを含め、真偽不明なまま各種情報が瞬時に伝わり拡散するようになりまう。

私たちは今こうした先の見通しが立ちにくい混沌とした世界の中におります。皆さんがこれから船出しようとしている世界は私たちがこれまで経験したことのない世の中になりつつあるようにも思われます。こんな句があります。

「ただならぬ 世に待たれ居て 卒業す」
竹下 しづの女

何ともおどろおどろしい雰囲気漂う句です。詠まれたのは1935年。あの「26事件」が勃発する前年です。国内外で政治経済が混乱し、日本が暗い社会に突入しようとしている時代の句であります。この後の歴史の歩みは皆さまご案内のとおりです。これを現在の日本と比較するつもりは毛頭ありません。時代背景もまったく違います。ただこうした一寸先は闇という混沌の中に身を置いているという点では似通ったものがあると言えましよう。

そしてそのような中においても何が真理か、理想の世界は何処にあるのかという解を求めて突き進んで行く。世の中をより良い方向に変えて行く。それはいつの時代においても皆さん方のような若い人たちに求められているものです。

怖れる必要はありません。浮足立つ必要はありません。が、風の流れに敏感であってください。変化の兆しによく注意を向けていてください。そして事の真偽を見極める冷静な目を持ってください。先ほどもご紹介したような国際的サブライチエーション見直しの動きが起ころっております。そして最近などでは「働き方改革」という動きもあります。これはまだ緒に就いたばかりの動きなのかも知れませんが、今回の新型コロナウイルス騒動を受けて議論が大きく進む可能性もあります。最初は小さな兆しであったものの、気が付いてみると大きなうねりとなり変革となつて現れる。今私たちは、社会が大きく変わろうとしている、その岐路に立たされているのではないでしようか。皆さんがこれまで学んで来た知見をフルに活用して最適な判断をして行かれることを期待しておりますし、皆さん方の感性と行動力を信じております。

有為転変の激しい世の中です。そういう世の中に皆さんは4月から船出する訳です。思いもかけない事態に直面することもあることでしょう。これまで学んで来たことが何の役にも立たないということも起

こり得るでしょう。まさに未知との遭遇であります。そんな時に頼りになるのは相談することのできる「人」です。ご家族や友人、先輩、後輩、教師といった「人のネットワーク」です。多方面に広がった「人のネットワーク」、それは資産です。それは多ければ多い程、広ければ広い程いい。そうした「人のネットワーク」という資産の筆頭に來るであろうものは「同窓会のネットワーク」です。そして本学のそれは先程述べましたように今や6500名を超える資産に成長しております。同窓会は大学の力の重要な源泉の一つです。こちらの鎖の

理事長祝辞



学校法人 新潟平成学院
理事長 星野 元

新潟国際情報大学の第23回卒業生280名の皆さん、卒業おめでとうございます。併せてご父母の皆さま、心よりお祝いとお喜びを申し上げます。

今春の卒業式は、新型コロナウイルスの感染拡大のため誠に残念ながら挙行できなくなりました。異例の措置について皆さんは、さぞかし悔しい思いをされていることと推察します。私も同じです。そして教職員も同様かと存じます。残念無念、決して忘れられない記憶となりました。

しかし卒業生、ご父母の皆さん、晴れ姿で迎えることができなかった卒業式ではあります。が、当然のことながら皆さんの「卒業」が色褪せる訳でもなく、みずき野のキャンパスで学び、友をつくり過ごした4年間の歳月は、生き生きとして生涯の糧にな

輪は末永く活用してください。

「顧みての微笑み」という言葉があります。学位記を手にした皆さんはこみみずき野で過ごして来た日々を思い起こしておられるものと思います。そして皆さんはいずれまた何年か、あるいは何十年か後の区切りの時に自分たちが歩んで来た途を振り返って見ることでしよう。その時にそれまでの来し方を、微笑みを以て総括することができるのかどうか。そして行く末に明るい思いを馳せることができるのかどうか。もちろんそのような大きな節目だけではありません。毎日の暮らし、日々の営みの中で、

つていくことは紛れもないことであります。確かに皆さんにとって戸惑いの春三月とはなりましたが、それぞれの道に向かって胸を張り、力強く堂々と一歩を踏み出してほしい、と願って止みません。令和元年度、開学25周年の歴史を重ねた本学の卒業生は合計6000人を超えています。そうした先輩たちも皆さんの仲間入りを手を広げて待っております。

さて、私は卒業式の祝辞のたびに同じようなことを申し上げておりますが、また繰り返さざるを得ません。つまり、皆さんは逃げることはできない、極めて生きづらい時代を、歯をくいしばって生き抜いていか

勇気と覚悟 挑戦する気概を！

ねばならない、ということなのです。

21世紀を迎える時、人々は誰しもが「戦争と破壊の世紀」との決別を願いました。しかし、現実には相変わらずテロや地域紛争、宗教間の対立などが続き、多くの人命が奪われ続けています。そして貧富の格差拡大と世界の分断、過激化。大規模化する自然災害、高齢化と福祉の困難性、メルトダウンした原発と地震の恐怖など数えきれない試練と逆境が続く時代の真つただなか

はつと一息ついて自らの行いを振り返ってみる、むしろそうした場面で思い出していただきたい言葉だと思っておりますが、それらのいずれの時においても、願わくば、微笑みをもって総括ができるようになっていただきたいと思います。私自身はそうありたいと思っておりますし、皆さんにも是非そうした日々を送っていただきたいと願っております。

「顧みての微笑み」、これはこうした節目の時にいつも私が贈る言葉です。饒言葉としては簡素でさり気なさ過ぎる言葉かも知れませんが、皆さんのこれからの人生

に私達は存在します。そこに感染症のパンデミックが加わってしまいました。

私は地球温暖化に伴って、人類が過去に体験したことのない、とてつもない自然災害の猛威や核戦争の偶発的勃発も想定せざるを得ない状況にある、と思っております。

しかし他方で、私は絶望的な気分を襲われることも否定はしませんが、それ以上に信念として人類の英知をもって結集、対応すれば、諸々の脅威に打ち勝つことができると確信しています。コロナウイルス対策でも言えることなのですが、世界の国々の一人ひとりの冷静さや連帯が試されることであり、それは試練を越えて実行可能だ

と思っております。

卒業生の皆さんは、これからいろいろな難局に直面するでしょう。その時、決して委縮することなく、誇りと信念、そして果敢に挑戦する気概を持って実社会で難局を乗り越えてほしい、と心から願っております。みずき野の西の空に、弥彦、角田の山並みが青く浮かぶ風景は、皆さんにとって生涯忘れられない記憶として残るでしょう。皆さんご存じかどうか、旧西蒲原郡味方村（現

が幸多かれと祈りつつ私からの祝いの言葉と致します。

そして最後にもう一句。

「ともかくも 卒業したる めでたさよ」

富安 風生

この度は残念ながら卒業式典のみならず卒業記念祝賀会も中止のやむなきに至りました。

せめて出席できなかったご父母の皆さま、ご関係の皆さまと祝いのひと時をゆっくりと楽しんでください。

ご卒業、誠にありがとうございます。

新潟市南区味方)に生まれた碩学で、かつて京大総長を務められた平沢興先生(1900(1989年)の自伝に「山はむらさき」という著書があります。「越後平野のまんなかにも生まれ、ふだん見る遠い山々がいつも紫に見えた」そうです。

その「山はむらさき」によれば、先生は京大医学部に入学早々、向学の夢が医学部の現実の切り裂かれ、ひどく精神を病んで故郷に戻ります。「医学部の現実」がどういうものだったのか、私には分かりません。先生はそして、故郷の雪原をさまよっていたある日、私淑していたベートーベンの叫びを聞きます。「まさに運命の瞬間」と先生は書いておられます。耳の病気で絶望的になりそうな25歳のベートーベン。その声は「勇気を出せ。たとえ肉体に欠点があろうとも、わが魂はこれに打ち勝たねばならぬ。覚悟を決めねばならぬ」という自らに向かつて叫ぶ戒めと励ましの言葉だったといえます。「自分ごときが煩悶し迷うのは当然だ」とこれを聞いた平沢先生はわれに返り、自分を取り戻したそうです。そして先生は、間もなく京都に向かうことになりました。

「勇気」と「覚悟」。以上、ベートーベンと平沢先生の話から二つの言葉を卒業生に「贈る言葉」とします。

「卒業」という言葉を目の前にすると寂しいですね。

4年間過ごしてきた学生生活は本当に充実した毎日で、一から語ろうとすると、丸二日は語り続けられる自信があります。

その中で特に一番心に残る思い出は、学友会執行部での取り組みです。私は、大学祭の企画・運営に携わりたくて、執行部に入りました。そこでは、大きく分けて2つの活動に取り組みました。

1つは、紅翔祭の企画・運営に携わり、主に模擬店管理と、留学イベントに取り組みました。

2つ目は、学友会長として大学行事の運営サポートに取り組みま

した。

どちらも右も左も分からないことばかりだった私を、執行部員はもちろんサークル団体の皆さんに支えていただきました。また、普段の学生生活においては、大学教職員の皆様から様々な点でご教示いただきました。どれも入学したての頃には想像もつかなかった出来事で、本当に貴重な経験ばかりさせていただきました。

私が4年間充実した学生生活を送ることができたのは、本学の入学を薦めてくれた私の両親をはじめ、本学教職員の皆様、友人のおかげです。この場をお借りして心から感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

忘れられない学友会活動

情報システム学科 佐藤 紘子

卒業にあたって

駆け抜けたみずき野の青春の日々

これまでの大学生活4年間を思い返すと、あつという間と感じると同時に、とても充実していたものに感じられます。

私が本学に入学する大きなきっかけとなったのは、「語学力」を向上したいという気持ちからでした。大学2年次に英語をさらに学びたいと思い、アメリカ留学に参加しました。多くの国籍の仲間と切磋琢磨し、語学能力の向上だけでなく、かけがえのない友達にも出会えました。また、完璧でなくてもいいから自分の言葉で「伝える」ことの大切さを学ぶことができました。4年次には朱鷺メッセで行われた「G20新潟農業大臣会合」にボランティアとして参加しまし

貴重な体験に支えられて

国際文化学科 塩原 聖奈

た。コーヒープレイクという合の休憩時間には、フロアに用意してある新潟のお菓子を説明する機会がありました。日常の英語とは異なり、難しい単語や言い方などを変えなければならず大変だったこと、会場の厳粛な空気に圧倒されたことなどを今でも鮮明に覚えています。

今の「私」が在るのは、これらのかけがえのない経験と大学生活で得た多くの知識のおかげです。大学生活だけに限らず、いつも支えてくれた両親にはとても感謝しています。また、多くのチャンスを与えてサポートしてくださった先生方に感謝申し上げます。ありがとうございました。

私は大学4年間、一人で日本中を旅すること、ボランティアを行うこと、またその団体を運営することなど、さまざまなことに関心を持ち、精力的に活動してきました。

これらのことを通して、自身の見聞を大きく広げたり、違う誰かのことを考えて行動したり、とても有意義な経験をするすることができたのはもちろんですが、それ以上に大切なものがあります。それは人と人との繋がりでです。

私はこれまで多くの人と出会ってきました。その度にさまざまな価値観に触れ、良い意味で「このままじゃ駄目だ」と危機感を与えられたことで成長することが出来たと感じています。

見聞広げた人との出会い

国際文化学科 岡田 遥輝

私は大学生活を送るにあたって心掛けていたことがあります。皆さんもご存知かと思いますが、大学生という期間は自発的に動かなければ、ただ授業を受けて帰るだけの繰り返しで、4年間で得られるものは限られてきます。そこで、多くのことに興味を持つことは言うまでもなく、考えすぎるとやらない理由を見つけてしまうため、ある程度考えたらすぐに行動に移すことを心掛けていました。

これから社会人になります。が、大学生活で得てきたものを存分に活かして、楽しみなから精進していきたいと思っています。

楽しく走り続けた4年間

情報システム学科 斎藤 大介

私は高校3年生の時、これまで通り陸上競技を続けられる大学を、県内で探していました。その時、同じ高校の陸上の強かったOBの先輩が在学しており、陸上部を強化指定部にしていて本学への入学を決意しました。そして、ずっと目標にしていた全国大会入賞を実現するために、4年間必死に練習を続けてきました。けれども何度か続き、1、2年次の頃は自己記録は更新できたものの、全国大会に出場することはできませんでした。

しかし、3年次で初めて大学の全国大会に出場し、同時に国体への出場も実現することができました。そして4年次の秋に出場した茨城での2度目の国

JABEE認定プログラム 22人に修了証書授与



(情報システム学科 教授 石川 洋)

学位記授与終了後の3月21日午後、JABEE（日本技術者教育認定機構）で認定されている、情報システム技術プログラムの修了証書授与式が行われました。令和元年度は22名が修了証書を授与されました。

JABEE修了生は、世界に通用する教育を受けた技術者とみなされ、国家資格である技術士の第一次試験免除の優遇措置が受けられます。

修了生を中心に、継続研さんと情報交換を目的とし、技術士・教員との交流会（年2回新潟と東京）への参加を呼び掛けています。社会で活躍されることを期待します。

280人が学窓巣立つ

—マスク着用で異例の卒業式—

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で卒業式を中止した本学は、令和2年3月21日、本校みずき野キャンパスで学位記授与を行いました。卒業生280人（国際文化学科114人、情報システム学科166人）が各学部ゼミや研究室単位で教室に分かれ、担当教員から学位記と記念品を受け取りました。

全員が集合する式典は中止されましたが、卒業生はほとんどマスクを付けてキャンパスに集合、男性はリクルー

令和元年度学位記授与

新型コロナウイルスの感染拡大の影響で卒業式を中止した本学は、令和2年3月21日、本校みずき野キャンパスで学位記授与を行いました。卒業生280人（国際文化学科114人、情報システム学科166人）が各学部ゼミや研究室単位で教室に分かれ、担当教員から学位記と記念品を受け取りました。

感染拡大の防止を最優先に配慮した異例の「卒業式」となり、恒例の祝賀会も中止されましたが、卒業生からは「ゼミの先生から学位記を授与されてうれしかった」、「最後にみんなで集まれる機会があつてよかった」などの声が聞かれました。

トスツ着用が多く、女性のなかにはハカマ姿もみられました。国際学部、情報文化学科の順で学位記が授与されたあと、恩師や仲間と歓談したり、ホームページにアップされた学長メッセージを見たり、ナビットと一緒に記念写真を撮ったりして本学との別れを惜しんでいました。



第23回までの卒業生は合計6,654人に

年度	卒業生数	情報文化学科	情報システム学科
平成9年度(第1回)	295人	116人	179人
10年度(第2回)	290人	124人	166人
11年度(第3回)	303人	126人	177人
12年度(第4回)	294人	116人	178人
13年度(第5回)	291人	118人	173人
14年度(第6回)	277人	111人	166人
15年度(第7回)	314人	118人	196人
16年度(第8回)	294人	115人	179人
17年度(第9回)	299人	121人	178人
18年度(第10回)	278人	110人	168人
19年度(第11回)	312人	126人	186人
20年度(第12回)	285人	117人	168人
21年度(第13回)	267人	105人	162人
22年度(第14回)	310人	117人	193人
23年度(第15回)	272人	110人	162人
24年度(第16回)	294人	113人	181人
25年度(第17回)	291人	124人	167人
26年度(第18回)	278人	107人	171人
27年度(第19回)	269人	124人	145人
28年度(第20回)	288人	114人	174人
年度	卒業生数	国際文化学科	情報システム学科
29年度(第21回)	282人	106人	176人
30年度(第22回)	286人	110人	176人
令和元年度(第23回)	285人	118人	167人
合計	6,654人	2,666人	3,988人

※9月卒業生含む



令和元年度 卒業生特別表彰

学長賞（学業成績優秀者）

情報システム学科

貝津 拓実

国際文化学科

西野 千咲

課外活動賞

情報システム学科

高藤 大介

陸上競技部で短距離走の競技力向上に励み、国体へ2年連続出場を果たすなど優秀な成績を修めた。

情報システム学科

猪俣 慧樹

陸上競技部で短距離走の競技力向上に励み、北信越大会入賞をはじめ日本学生陸上競技対校選手権大会への出場を果たすなど優秀な成績を修めた。

国際文化学科

高澤 拳

フィットネス研究部でパワーリフティングの競技力向上に励み、ジャパンプラシックスパワーリフティング選手権大会へ出場を果たすなど優秀な成績を修めた。

地域交流賞

笹山じょうもんチーム
情報システム学科

鈴木 尊就
加藤 大和
佐藤 紘子

十日町市の笹山縄文遺跡で開かれる「笹山じょうもん市」で、イベントの企画・運営を行ったほか、若者に地元企業の良さを知ってもらおうと企業紹介パンフレットを制作し、地域に貢献した。

キミノデザイン製作所
情報システム学科

齋藤 叶

魚沼市小出地区で子供たちにオリジナルスタンプを作るワークショップを開催し、コースターを製作して同地区商店街に採用された。また子供たちが地元のPRに参加できる仕組みをつくり地域に貢献した。

学術賞

国際文化学科

上松 彩香

漢語橋世界大学生中国語コンテスト並びに朱鷺杯中日友好作文コンクールで入賞。中国語検定・HSK漢語水平考試でも優秀な成績を修めた。

国際文化学科

川俣 朝翔

高度な資格取得に向け努力し、HSK漢語水平考試で優秀な成績を修めた。

国際文化学科

館海 香子

高度な資格取得に向け努力し、HSK漢語水平考試並びに中国語検定で優秀な成績を修めた。

国際文化学科

渡辺 光紀

北京師範大学漢語文化学院による作文コンクールで入賞し、またHSK漢語水平考試でも優秀な成績を修めた。

国際文化学科

石田 彩夏

高度な資格取得に向け努力し、TOEIC並びに実用英語技能検定で優秀な成績を修めた。また新潟市の国際イベントで通訳ボランティアをするなど、語学力を生かし課外活動に積極的に取り組んだ。

国際文化学科

木根 真奈

高度な資格取得に向け努力し、韓国語能力試験で優秀な成績を修めた。